

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その１）

河川名		ふくいがわ 福井川	事業名		総合流域防災事業		事業区間		阿南市福井町				
再評価の実施理由			再評価実施後5年が経過しており、事業の必要性・効率性を再度評価する必要がある。										
未着工あるいは事業が長期間要している理由			用地の取得、港湾事業・津波対策事業との調整、農業施設（旧大原堰）撤去に関する調整に日時を要したこと。										
事業内容	事業目的		河積の拡大により洪水被害の解消を図る。										
	事業実施内容		改修延長L= 6,500 m 築堤 100,100m ³ , 掘削 448,100m ³ , 護岸 12,240m 根固 2,700m, 水門樋門 9基, 道路橋 5橋, 堰 4基										
	目標流量		540 m ³ /s		治水安全度（当該事業目標）			1/50					
	事業採択年		S56		工事着手年		S56		完成目標年		H35		
事業の進捗状況	全体事業費 （内用地費）		70.0 億円 4.8 億円		投資事業費 （内用地費）		53.6 億円（進捗率 77%） 3.4 億円（進捗率 72%）						
	事業進捗状況		大原堰の改築を含む、事業が下流から露田橋付近まで概成している。										
	一連の整備効果の発現状況			旧大原堰（固定堰）の撤去、引き堤により浸水被害が軽減されている。									
	事業をめぐる社会情勢等の変化	事業目的に関する諸状況	現況での課題		樺地川の合流点から上流右岸の堤防が低く、浸水被害が発生している。								
災害発生時の影響（想定氾濫区域内）													
①浸水戸数			187 戸										
②浸水面積			90 ha										
③重要な公共施設等：特になし													
過去の災害実績													
①被災頻度			S40(台風第23,24号), S51(台風17号及び豪雨), S63(豪雨(梅雨)), H2(豪雨, 台風18号), H10(豪雨(5月), 豪雨及び台風6,7号), H15(梅雨前線豪雨, 台風10号), (豪雨(4月), 豪雨(5月), 梅雨前線豪雨, 8月末豪雨)										
②最大浸水戸数			145戸[H15(梅雨前線豪雨)]										
③最大農地浸水面積			45ha[H15(梅雨前線豪雨)]										
④重要な公共施設等 一般国道55号, 県道由岐大西線													
災害発生の危険度													
①改修目標流量に対する現況流下能力の割合：34%													
②現況の治水安全度 1/2以上													

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その２）

河川名	ふくいがわ 福井川	事業名	総合流域防災事業 床上浸水対策特別緊急事業	事業区間	阿南市福井町
続き	地域の 状況	①地域開発の状況：特になし ②地域の協力体制：阿南市からの事業促進要望が強く、事業進捗に対して協力的である。 ③関連事業との整合性の変化：港湾事業及び津波対策事業の見直しが行われており、これら事業との整合性を図った上での整備が期待されている。 ④地域の事業に対する社会的評価：福井川からの溢水及び福井川に排水出来ないための内水による浸水被害が頻発していることから、事業の早期進捗の要望が強い。			
		費用： 総費用の算定は、以下に示すとおりである。 ・総事業費 全体の実業費のうち執行済事業費は治水デフレーターで、残事業は将来の割引率（4%）を考慮して現在価値化したうえ積算した。 総事業費＝10,870 百万円 ・維持管理費 1年間当たりの維持管理費について、施設完成後（50年間）を対象に将来の割引率（4%）を考慮して現在価値化したうえ積算した。 維持管理費＝750 百万円 ・総費用 総事業費＋維持管理費で算出した。 総費用＝10,870＋750＝11,620 百万円			
費用対 効果 分析		効果： 総便益の算定は、以下に示すとおりである。 ・総便益 事業中の便益として、年平均被害軽減期待額（505百万円）を、事業完成までの（平成25年～平成29年）にわたり現在価値化して積算した。さらに事業後の便益として、年平均被害軽減期待額（977百万円）を、事業完成後50年間（平成30年～平成79年）にわたり現在価値化して積算した。 純便益＝19,323 百万円 ・残存価値 評価対象期間終了時点における構造物と用地の残存価値を現在価値化して積算した。 残存価値＝97 百万円 ・総便益 純便益＋残存価値で算出した。 総便益＝19,323＋97＝19,421 百万円			
		費用対効果分析の結果 【全体計画】 費用便益比：B/C＝1.67 【残事業】 費用便益比：B/C＝2.16 ＜感度分析結果＞ 残事業費：B/C＝1.65（＋10%の場合）、B/C＝1.69（－10%の場合） 残工期：B/C＝1.67（＋10%の場合）、B/C＝1.33（－10%の場合） 資産：B/C＝1.83（＋10%の場合）、B/C＝1.51（－10%の場合）			